



- 7 災害に強いまちづくりがすすんでいる
- 8 日常の安全安心が確保されている

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

事務事業名	耐震改修促進法に関する事務	事務事業番号	040701010026
担当所属	都市政策部都市戦略室建築住宅課	担当課長名	尾高 尚純

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像	人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市		
総合計画	施策分野	04 安全安心	
	施策目標	07 7 災害に強いまちづくりが進んでいる	
	基本施策	01 1 まちの防災機能を高めます	
	主な施策	01 1 適切な情報提供による住宅の耐震改修の促進	
課題別計画	戸屋市耐震改修促進計画		
事業期間	平成19年度 ~ 令和 7年度	会計種別	一般会計
		事業種別	自治事務
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律		
実施区分	直営、委託、補助	財源	市、国・県等の補助
		施設種別	その他

【事業概要】

<p><b>【対象】</b> 市内の旧耐震建築物</p> <p><b>【意図】</b> 建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき、市内建築物の耐震化を促進し、都市の安全性の向上を図る。</p> <p><b>【大きな目的】</b> 地震による建築物の倒壊等の被害から市民の生命、身体及び財産を保護すること。</p>	<p><b>【全体概要】</b>  <input type="checkbox"/>建築物の耐震診断及び耐震改修について必要な指導、助言及び指示等  <input type="checkbox"/>住宅・建築物の地震に対する安全性の向上に関する啓発  <input type="checkbox"/>戸屋市耐震改修促進計画の推進  <input type="checkbox"/>簡易耐震診断推進事業の実施  <input type="checkbox"/>住宅耐震化促進事業の実施</p>
---	---

【事務事業の経費】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 4年度決算について
合計	千円	9,696	2,137	5,565	住民1人当たり(円) 22.83
事業費	千円	9,696	2,137	5,565	1世帯当たり(円) 50.16
特 国費	千円	1,689	141	2,630	人口 93,596
定 県費	千円	185	253	283	世帯数 42,603
財 市債	千円	0	0	0	令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より
源 その他	千円	0	0	0	
一般財源	千円	7,822	1,743	2,652	特記事項・備考
うち人件費合計	千円	5,918	1,472		
活動配分	人	0.800	0.200		
正職員	人	0.800	0.200		
会計年度任用職員	人	0.000	0.000		
うち経費	千円	0	0		
減価償却費	千円	0	0		
他部門経費	千円	0	0		
事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について) 補助事業費が減少したことにより、事業費が減少した。					

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標	戸屋市内の建築物の耐震化の促進
令和 4年度の実施内容	概要 ・簡易耐震診断推進事業 9件 ・住宅耐震改修促進事業 計画策定 2件
令和 4年度の改善内容	適宜検証を行い、「アクションプログラム」に基づき、市民へ制度の周知・啓発活動を行った。
現在認識している課題	順調に市内の住宅における耐震化率は向上している。今後も引き続き耐震化を促進するため、方法を検討しながら啓発活動を継続する。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか	総合評価 現段階では市による実施が妥当である 補助を行うため、市が事業を実施するのが妥当である。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか	総合評価 整合性はある 災害に強い安全なまちづくりが進んでいる。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか	総合評価 貢献度が中程度 建築物の耐震化を進めることで災害時の安全性を高めている。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改修事業を着実に実行しているか	総合評価 概ね実行している
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか	総合評価 類似事業はない/統合はできない
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか	総合評価 できる 耐震化の啓発等について、さらに効果的な手段を模索する。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか	総合評価 コスト削減の余地はない 既に国・県の交付金を最大に利用できる内容で補助事業を実施している。
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か	総合評価 適正な負担を求めている 国・県の補助制度に沿った事業を行っている。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容	効果的な事業の実施をしていくことで耐震化を促進する。									
今後の課題	住宅ストックを維持していくために耐震診断や耐震改修が必要であることを更に啓発していく必要がある。また、住宅の所有者等が建替えるべきか改修すべきかの判断ができるよう適切な情報提供を行う必要がある。	今後の取組・方向性 着実に耐震化を促進するため、引き続き耐震化に関する情報発信を行う。								
【総合評価】	良質な既存住宅のストック形成を目的とし、引き続きアクションプログラムに基づき市民への周知・啓発活動に努め、住宅の耐震化を促進していく。	<table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>一部達成した</td> </tr> <tr> <td>改善余地</td> <td>ある程度改善の余地がある</td> </tr> <tr> <td>今後の方向</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	妥当性	あり	達成度	一部達成した	改善余地	ある程度改善の余地がある	今後の方向	現状維持
妥当性	あり									
達成度	一部達成した									
改善余地	ある程度改善の余地がある									
今後の方向	現状維持									

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 防災拠点の維持管理, 都市政策部都市基盤防災安全課, 040701020017, 岡本 和也.

【事務事業基本情報】

Form with multiple sections: 戸屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分, 財源, 施設種別.

【事業概要】

Table with 2 columns: 対象, 意図, 大きな目的. Includes details about disaster preparedness and citizen safety.

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes sub-tables for 事業費 and うち人件費合計.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
令和 3年度は、山手中学校耐震性貯水槽設置工事等に伴い事業費が増額していたため。

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Lists goals and actual expenditures for disaster preparedness.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容. Lists improvements made during the fiscal year.

現在認識している課題
□防災拠点等における災害時の施設及び資機材等の整理、見直し、維持管理の方法の検討。

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容. Lists improvements made during the fiscal year.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 総合評価, 効果性評価. Evaluates the project's objectives, overall performance, and effectiveness.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Lists goals for the next fiscal year and future issues.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Lists future issues and corresponding actions.

Table with 2 columns: (総合評価), 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Provides a summary evaluation and future directions.

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content: 道路の改良事業, 都市政策部都市基盤室基盤整備課, 040701034013, 竿尾 博司

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows: 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 【対象】, 【意図】, 【大きな目的】 on the left; 【全体概要】 on the right. Content: 市道(車道、歩道、自転車道など), 道路機能の改良を図る, 市道を通行する車両や歩行者等の安全性向上と沿道環境の改善を図る, etc.

【事務事業の経費】

Table with 5 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算. Content: 合計, 事業費, 特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源, うち人件費合計, 活動配分, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
芦屋川地区無電柱化事業の進捗により、工事費が増加したため。

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Content: 芦屋川地区電線共同溝整備工事の実施, 道路愛称看板の設置, etc.

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容, 令和 4年度の改善内容. Content: 芦屋川地区(平田町)電線共同溝整備工事(その3), 芦屋川地区電線共同溝整備工事(その4), etc.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Content: 芦屋川地区電線共同溝整備工事の実施, 道路愛称看板の設置, etc.

Table with 2 columns: 現在認識している課題, 事業の評価. Content: 無電柱化事業における関係機関及び沿道住民との協議.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 【目的妥当性評価】, 【有効性評価】, 【効率性評価】. Content: 事業実施に妥当性があるか, 総合評価, 現在採用されている電線共同溝での整備はコストが高いため, etc.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題, 今後の取組・方向性. Content: 六麓荘町電線共同溝詳細設計の実施, etc.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Content: 無電柱化事業における関係機関及び沿道住民との協議により、より低コストな実施手法を定める必要がある。

Table with 2 columns: (総合評価), 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Content: 無電柱化推進計画実施計画の改訂を行った。六麓荘地区の着手に向け、地域との調整を丁寧に進める必要がある。

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 2 columns: 事務事業名 (防災総合訓練及び地域の防災・減災事業), 事務事業番号 (040702010043), 担当所属 (都市政策部都市基盤防災安全課), 担当課長名 (岡本 和也)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野: 04 安全安心, 施策目標: 07 災害に強いまちづくりが進んでいる, 基本施策: 02 2 自助、共助、公助の連携により、災害に備えます, 主な施策: 01 1 災害発生時に地域住民間で協力し合える体制を構築するための支援), 課題別計画 (地域防災計画・水防計画), 事業期間 (平成27年度 ~ 令和 9年度), 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 根拠法令等 (災害対策基本法、水防法、消防組織法), 実施区分 (直営), 財源 (市、国・県等の補助), 施設種別

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】 市民、職員及び災害対応を行う関係各機関, 【意図】 市域における災害時の減災の考え方を基本として人命を最優先とし、被害ができるだけ少なくなるように日頃から災害予防のための総合的訓練及び啓発活動を行う。 【大きな目的】 市域における自然災害に関し、災害予防、災害応急対策を行う防災活動を総合的、計画的に実施することにより市民の生命、財産を災害から保護することを目的とする。), 【全体概要】 市民と職員が参加する訓練の実施, 阪神広域と連携した訓練の実施, 自主防災組織の活動支援, 市民への啓発, 地区防災計画策定を支援し、地域の防災力向上を図ります。 要配慮者名簿を提供し、地域における要配慮者への対応強化を図ります。

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数), 合計, 事業費, 特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源, うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費)

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
□令和 3年度は防災ガイドブック、防災情報マップ等の改訂があり歳出額が増額した。令和 4年度は防災情報マップ等を増刷等したが、内容が軽微であったため、歳出額の減少となった。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
□地区防災計画の策定推進について、引き続き市内全域に普及させるための説明会やセミナーを実施するとともに、計画作成の取り組みの機運が高まっている地区を中心に、ワークショップ等を通じた地域特性の把握、課題の洗い出しへの支援を行う。
□要配慮者支援については、要配慮者名簿の啓発を継続的に行い、名簿受領や活用の促進を行う。

令和 4年度の実施内容
□芦屋市防災総合訓練 令和4年11月20日(日) 参加者 1,010人(延べ人数)
地震・津波をテーマとし、日常と非日常を切り離さない「フェーズフリー」をコンセプトに全世代を対象とした体験・体感コンテンツの導入と関係機関・団体等の連携・協力 の下、防災啓発の自助部分を強化し防災意識の向上と日常化を図ることを目的とした訓練を実施

□自主防災会育成事業補助金 32団体 890千円

□防災士育成事業補助金 4人 222千円

□災害時要配慮者支援 名簿取り交わし 46団体

令和 4年度の改善内容
□学校避難所管理部や支援対策部を対象に、避難所開設研修を開催し、前提となる感染症対応等の基礎知識の習得から、会場を避難所に見立てた開設シミュレーションの実働まで行った。

現在認識している課題

□地区防災計画の策定や要配慮者支援の取り組みについて、住民主体となるように、自助・共助の意識を啓発しながら、地区に合わせた支援をしていく必要がある。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか

総合評価 法令等により市が実施しなければならない
□市が実施する防災訓練は、法令等により定められている。

【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか

総合評価 整合性はある
□家庭や地域、行政の防災力向上や災害時の地域住民の主体的な防災活動の基盤作りと整合している。

【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか

総合評価 貢献度が大きい
□地域及び行政の防災力向上に貢献している。

【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか

総合評価 概ね実行している
□要配慮者支援の啓発やイベント等の開催による幅広い年代の訓練参加などを促し、地域防災力の向上を推進している。

【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか

総合評価 類似事業はない/統廃合はできない
□類似事業はない。

【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか

総合評価 できる
□地域の自主防災訓練等において、地元防災士の参画や県補助等の活用により、費用対効果をあげることができる。

【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか

総合評価 コスト削減余地あり
□地域の自主防災訓練等において、地元防災士の参画や県補助等の活用により、コストを削減できる余地はある。

【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か

総合評価 負担を求められない
□受益者負担を求められない。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容

□地区防災計画の策定推進について、引き続き自主防災会等へ啓発するとともに、計画作成の取り組みの機運が高まっている地区を中心に、ワークショップ等を通じた地域特性の把握、課題の洗い出しへの支援を行う。
□要配慮者支援については、要配慮者名簿の啓発を継続的に行い、名簿受領や活用の促進を行う。

今後の課題

□要配慮者支援について、名簿受領の促進、名簿の活用方法の周知。

今後の取組・方向性

□地区防災計画の策定についてワークショップ等を通じて、地区による主体的な取り組みができるように、実効性のある計画作成を支援する。

【総合評価】

Table with 2 columns: 芦屋市防災総合訓練は地震・津波をテーマとし、日常と非日常を切り離さない「フェーズフリー」をコンセプトに全世代を対象とした体験・体感コンテンツの導入と関係機関・団体等の連携・協力の下、防災啓発の自助部分を強化し防災意識の向上と日常化を図った。地区防災計画の策定支援は、すでに作成に取り組んでいる地区や、機運が高まっている地区の取組支援を通して、計画策定につながった。 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (現状維持)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content includes '危機管理体制の充実・強化を図るための事務' and '柏原 由紀'.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Content includes '人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市' and '04 安全安心'.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Content includes '【対象】職員及び市民' and '【意図】各課の事業における危機の未然防止と発生後の被害の抑制'.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Content includes '合計' and '事業費'.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
危機管理体制の強化を図るための人件費等の増額によるもの

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
危機管理指針の見直し等に取り組み、職員の危機管理意識の向上を図る。

令和 4年度の実施内容
危機管理指針の見直しを行った。
また、職員を対象に研修を行い、危機管理意識や理解の向上を図った。

令和 4年度の改善内容
危機管理指針の見直し

現在認識している課題
職員の危機管理意識や理解の向上等の推進

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価内容. Content includes '【目的妥当性評価】事業実施に妥当性があるか' and '【効果性評価】成果を低下させずに、コストを削減できるか'.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
見直し後の危機管理指針に基づき、職員の危機管理意識や理解の向上等を推進する。

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Content includes '職員の危機管理意識や理解の向上等の推進' and '危機管理指針に基づいた研修等の実施'.

Table with 2 columns: 総合評価, 評価内容. Content includes '【総合評価】危機管理指針を新たにオールハザード型かつ継続・実践型に改定したことで、組織の危機管理能力の向上を企図しているが、' and '妥当性 あり'.

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 2 columns: 事務事業名 (防災対策関係事務) and 事務事業番号 (040702030014). Includes 担当所属 (都市政策部都市基盤防災安全課) and 担当課長名 (岡本 和也).

【事務事業基本情報】

Table containing project details: 戸屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野: 04 安全安心, 施策目標: 07 7 災害に強いまちづくりが進んでいる), 課題別計画 (□地域防災計画・水防計画), 事業期間, 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 実施区分 (直営), 財源 (市), 施設種別.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】 □市民, 【意図】 □計画の策定及び修正を行い、公助・共助における体制の整備と災害対応力の向上を図る.), 全体概要 (□計画の改訂及び策定, □防災会議の開催, □条例、規則の改正, □防災服の貸与, □危険箇所パトロール, □県及び報道機関への対応, □設備の維持管理, □緊急情報の伝達, □防災行政無線の整備及び保守, □フェニックス防災システムの運用管理, □強靱化計画の進捗管理を行い、防災力の向上を図ります., □指定管理者と災害に係る協定、締結し、災害対応の強化を図ります., □家具転倒防止器具補助金を交付し、地震対策の推進を図ります., □六甲山系グリーンベルト事業推進のため、国及び県と連携を図ります., □土砂災害特別警戒区域に指定された場合の支援措置を実施します.)

【事務事業の経費】

Table showing financial data: 年度 (令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算), 単位 (千円), 科目 (事業費, 特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費), 事業費の増減理由 (□急傾斜地崩壊防止対策工事負担金が令和3年度に比べ多かった等の理由のため、歳出額が増額となった.)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 (□土砂災害特別警戒区域等への安全性の向上を図るため、県の急傾斜地崩壊対策防止事業を推進していく.)

令和 4年度の実施内容 (□防災行政無線保守点検業務委託 2,550千円, □被災者生活再建支援システム構築業務委託 3,656千円, □急傾斜地崩壊防止対策工事負担金 36,400千円)

令和 4年度の改善内容 (□被災者生活再建支援システムを導入し、大規模災害発生時に「建物の被害認定調査」、「罹災証明書発行」、「被災者台帳の管理」等をシステム上で一括管理することで、被災者の生活再建に必要な業務が効率化される., □土砂災害特別警戒区域の対策として、県及び地元住民と密に協議を行い、県の急傾斜地崩壊防止対策事業の推進を図った.)

現在認識している課題 (□被災者生活再建支援システムの運用は、「建物の被害認定調査」を課税課、「罹災証明書の発行」及び「被災者台帳の管理」を生活援護課が担当するため、災害発生時に各担当部署で円滑に操作及び連携をする必要がある., □土砂災害特別警戒区域等への対策として、県の急傾斜地崩壊防止対策事業を推進し、早期に斜面の安全性の向上を図る必要がある.)

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (法令等により市が実施しなければならない), 目的妥当性評価 (前期基本計画との整合性はあるか), 総合評価 (整合性はある), 目的妥当性評価 (総合戦略の推進に貢献しているか), 総合評価 (貢献度が大きい), 有効性評価 (評価結果や計画立案された改進黨を着実に実行しているか), 総合評価 (概ね実行している), 有効性評価 (同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか), 総合評価 (類似事業はない/統廃合はできない), 効率性評価 (手段変更によって費用対効果をあげることができるか), 総合評価 (できない), 効率性評価 (成果を低下させずに、コストを削減できるか), 総合評価 (コスト削減余地あり), 効率性評価 (受益者負担を求められることができる事業か), 総合評価 (負担を求められるべき事業ではない), 効率性評価 (受益者負担を求められる事業ではない).

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容 (□大規模災害時に被災者生活再建支援システムを円滑に運用するため、各担当部署に対し研修等を推進していく., □土砂災害特別警戒区域等への安全性の向上を図るため、県の急傾斜地崩壊対策事業を推進していく.)

今後の課題 (□災害時における各班行動マニュアル等を職員に対して十分に浸透させる必要がある.), 今後の取組・方向性 (□県地域防災計画の改定及び近隣の災害等を考慮して、災害時の対応を的確に実施できるように、地域防災計画及び水防計画の改定を必要に応じて行っていく.)

Table with 2 columns: 総合評価 (引き続き、災害対応力の向上を図るため、取組を進める必要がある.), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実)

## 令和 5年度 事務事業評価票（令和 4年度 決算評価）

事務事業名	消防団運営管理業務	事務事業番号	040702030030
担当所属	消防本部消防室総務課	担当課長名	市川 信

## 【事務事業基本情報】

戸屋の将来像	人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市		
総合計画	施策分野	04 安全安心	
	施策目標	07 7 災害に強いまちづくりが進んでいる	
	基本施策	02 2 自助、共助、公助の連携により、災害に備えます	
	主な施策	03 3 災害発生時の体制や防災対策の充実	
課題別計画			
事業期間	昭和23年度 ~ 永年	会計種別	一般会計
事業種別	自治事務		
根拠法令等	消防組織法		
実施区分	直営	財源	市、使用料など
施設種別			

## 【事業概要】

<b>【対象】</b> 市民	<b>【全体概要】</b> <input type="checkbox"/> 消防団員研修：兵庫県消防学校、消防大学校、(公財)日本消防協会等への派遣。 <input type="checkbox"/> 退職報償金制度事務：市への請求（基金への請求） <input type="checkbox"/> 消防団員公務災害補償事務：市への請求（基金への請求） <input type="checkbox"/> 消防団長会事務：(公財)兵庫県消防協会及び阪神地区消防団長会の関係行事を通じて、消防情報の収集を行う。 <input type="checkbox"/> 消防団員表彰事務：消防業務に功績のあった者を表彰する。 <input type="checkbox"/> 消防団員任免服務等事務：団員の入退団及び昇任の事務を行う。 <input type="checkbox"/> 消防団運営管理事務：消防団の運営管理を行う。
<b>【意図】</b> 消防団の運営を円滑に行う。	
<b>【大きな目的】</b> 消防本部との連携で、災害の防除・被害の軽減にあたる。	

## 【事務事業の経費】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 4年度決算について
合計	千円	43,789	47,322	30,966	住民1人当たり(円) 505.60
事業費	千円	43,789	47,322	30,966	1世帯当たり(円) 1,110.77
特 国費	千円	23	0	0	人口 93,596
特 定 県 費	千円	338	444	565	世帯数 42,603
財 市 債	千円	0	0	0	
源 その他	千円	1,658	2,895	3,372	令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より
一般財源	千円	41,770	43,983	27,029	
うち人件費合計	千円	20,383	20,300		<b>特記事項・備考</b>
活動配分	人	2,900	2,900		全国的に消防団員数は減少傾向にあり、年齢については高齢化しているのが現状で、芦屋市においても同様である。
正職員	人	2,650	2,650		入団促進に関して多様な方策を講じて、消防団員数の増加及び若い世代の団員獲得に繋げることが重要となっている。
会計年度任用職員	人	0,250	0,250		
うち経費	千円	0	0		
減価償却費	千円	0	0		
他部門経費	千円	0	0		

## 事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)

事業費：入団者の増加に伴い、報酬や各種手当が多く発生したための増額。  
 人件費：概ね増減なし。

## 【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標	消防団の運営
令和 4年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員研修、兵庫県消防学校、日本消防協会への派遣</li> <li>退職報償金制度事務</li> <li>消防団員公務災害補償事務</li> <li>消防団長会事務</li> <li>消防団員表彰事務</li> <li>消防団員任免服務等事務</li> <li>消防団運営管理事務</li> </ul>
令和 4年度の改善内容	消防団員実員数の増加
現在認識している課題	消防団員実員数

## 【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか	総合評価	法令等により市が実施しなければならない 妥当性がある。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか	総合評価	整合性はある
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか	総合評価	貢献度が中程度 重点施策に貢献している。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか	総合評価	概ね実行している。 概ね実行している。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか	総合評価	類似事業はない/統廃合はできない 統廃合はできない。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか	総合評価	できない 最適な手段を選択し実施している。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか	総合評価	コスト削減の余地はない 削減の余地はない。
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か	総合評価	負担を求めるべき事業ではない 対象の事業ではない。

## 【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容	消防団の運営及び活動を円滑に行うことはもとより、消防本部・消防団の更なる連携強化を目指し、災害の防除・被害の軽減にあたる。									
今後の課題	今後の取組・方向性	芦屋市消防団のSNSは今後も継続し、消防団活動を広く市民に理解してもらうためのPR動画を引き続き効果的に活用する。団員の高齢化も進んでおり、若い年齢層を招いて積極的に広報し、令和4年度より運用を開始した芦屋市学生消防団活動認証制度を新たにPRしながら、若手団員の入団に繋げられるように努めていく。								
【総合評価】	令和4年度は各種イベント等で積極的に団員募集のコーナーを設けることで、例年より多くの入団希望者を確保することができた。今後も様々な機会を利用し、団員数の増加を目指すとともに、コロナ禍で制限していた訓練等を必要回数に戻すことで、消防団全体の底上げを図る。	<table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>概ね達成した</td> </tr> <tr> <td>改善余地</td> <td>ある程度改善の余地がある</td> </tr> <tr> <td>今後の方向</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	妥当性	あり	達成度	概ね達成した	改善余地	ある程度改善の余地がある	今後の方向	現状維持
妥当性	あり									
達成度	概ね達成した									
改善余地	ある程度改善の余地がある									
今後の方向	現状維持									



令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 消防本部運営管理事業, 消防本部消防室総務課, 040702030028, 市川 信.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市, 04 安全安心, 07 7 災害に強いまちづくりが進んでいる, etc.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 【全体概要】. Includes 【対象】 市民, 【意図】 消防業務を円滑に運営管理する., 【大きな目的】 本市の消防行政の充実を図る., etc.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 合計, 事業費, 国費, 特定県費, etc.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
事業費: 採用試験の実施方法を見直し、コロナ禍で実施していたテストセンター方式から集合型に変更したことによる減額。
人件費: 概ね増減なし。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
消防業務を円滑に運営管理する。

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容. Includes 消防大学校, 兵庫消防学校, etc.

令和 4年度の改善内容
次年度に向けた組織の見直しを図る。

現在認識している課題
消防力を低下させないよう要員の確保を円滑に行う。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価. Includes 総合評価, 妥当性はある., etc.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
消防業務を円滑に運営管理する。

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 消防力を低下させないように基準に基づく充足率を向上させる., etc.

Table with 2 columns: 総合評価. Includes 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Values include あり, 概ね達成した, etc.

<b>施策目標</b>	7 災害に強いまちづくりが進んでいる
<b>基本施策</b>	2 自助、共助、公助の連携により、災害に備えます

【主な施策】 1 災害発生時に地域住民間で協力し合える体制を構築するための支援

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
040702010009	1. 17あしやフェニックス基金事業	企画部市長公室政策推進課	自然災害に対する復旧・復興活動を支援するボランティア活動及びボランティアの育成、震災の教訓を語り継ぐ活動など、防災に関する活動を行うグループ	被災市として復旧・復興過程で得た尊い教訓とノウハウを次世代へ継承していくとともに広めていく	住民による安全と防災の確保のための地域活動を活性化させ、災害に強いまちづくりを進めていく	3,801	4,085	□市内グループおよび大学生等によるグループの防災活動等への助成金の交付	□寄付金 24件 1,023,000円 □基金運用利息 8,026円 □フェニックス基金助成金の活用状況 1件 200,000円 □アドバイザー会議 1回 □周知活動 ホームページ及び市広報紙での啓発
040702010021	防火指導と防火意識の普及啓発	消防本部消防室予防課	防火対象物の関係者・市民	災害の防止及び火災予防についての知識、技能を研究習得させる。	地域社会の安全と福祉の増進及び民主的社会人の育成	17,444	20,316	防火対象物の関係者及び市民の防火意識の向上	1 需用費（消耗品費）128,232円 2 役務費（手数料） 4,290円 （保険料） 15,980円 3 負担金 34,600円 4 備品購入費 264,000円 5 防火対象物立入検査 166件（消防署と同数計上） 6 各種届出受理 3,062件 7 芦屋市少年消防クラブ行事参加 1回 24人 8 防火対象物への啓発ポスター配布 延べ 29日 1,727人 9 訓練指導 18件 357人

<b>施策目標</b>	7 災害に強いまちづくりが進んでいる
<b>基本施策</b>	2 自助、共助、公助の連携により、災害に備えます

## 【主な施策】2 防災に関わる情報の効果的な発信

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
040702020042	阪神・淡路大震災芦屋市犠牲者追悼式	こども福祉部福祉室生活支援課	阪神・淡路大震災の犠牲者の遺族及び市民（関係者）	犠牲者への哀悼の意を捧げるとともに市民に対して日々の生活の中で防災意識を持つことの重要性を訴える。	阪神・淡路大震災の犠牲者に哀悼の意を捧げる。	1,741	1,843	「1.17芦屋市祈りと誓い」を事故なく安全に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日時：令和5年1月17日（火）午前7時～午後5時</li> <li>■場所：芦屋公園内「阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモニュメント」前</li> <li>■記帳者：1, 249人（前年度1, 032人）</li> </ul>
040702020023	火災予防業務	消防本部消防署	市民	火災危険の排除及び防火対象物等の防火安全の確保。	火災発生時の被害軽減を図る	69,581	70,534	火災危険の排除及び防火対象物の防火安全の確保を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 検査（予防課と同数計上） <ul style="list-style-type: none"> <li>防火対象物立入検査 166件</li> <li>危険物施設立入検査 25件</li> <li>少量危険物立入検査 12件</li> </ul> </li> <li>2 出動件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>特別警戒出動件数 234件</li> </ul> </li> <li>3 各種調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>地水利調査 128件</li> </ul> </li> </ul>
040702020046	防火・防災・応急手当等の普及啓発	消防本部消防署	市民	市民の防火・防災意識の啓発と応急手当の知識・技術の普及を図る。	災害に対する市民の対応力の向上と傷病者の救命率の向上を図る	85,857	86,724	防火・防災意識の啓発と応急手当知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 各種訓練指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織への指導 64回（消防訓練指導を含む）</li> </ul> </li> <li>2 救急関係（救急課と同数計上） <ul style="list-style-type: none"> <li>普通救命講習 27回</li> <li>応急手当講習 38回</li> <li>上級救命講習 1回</li> </ul> </li> </ul>

施策目標	7 災害に強いまちづくりが進んでいる
基本施策	2 自助、共助、公助の連携により、災害に備えます

## 【主な施策】3 災害発生時の体制や防災対策の充実

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
040702030027	消防庁舎維持管理業務	消防本部消防室総務課	市民	消防業務を迅速に行うため、適正に管理する。	消防業務が効率よく遂行される。	73,075	64,995	消防庁舎の維持管理	・公共施設管理センターと協力し、消防庁舎維持管理 ・消防庁舎の施設や設備の修繕
040702030029	消防団施設・設備維持管理事務	消防本部消防室総務課	市民	消防業務を迅速に行うため、適正に管理する。	消防業務が迅速に遂行できる。	6,100	6,035	消防団詰所の維持管理	消防団詰所の維持管理
040702030032	消防活動に関する業務	消防本部消防室警防課	市民	火災等から施設及び人員を活用して市民の生命・身体・財産を保護する。	消防体制を強化し、充実を図ることにより、市民の被害の防止・軽減を目的とする。	64,844	38,841	火災等から市民の生命・身体・財産を守る。 消防隊員用個人防火装備更新事業。	□消防隊員用個人防火装備更新 □資器材の整備 訓練用安全マット、火災調査用デジタルカメラ、緊急消防援助隊用パソコン、小型動力ポンプ、3連梯子等 □消防水利等改修工事 奥池町水利標識2箇所
040702030033	救助・水防活動に関する業務	消防本部消防室警防課	市民	災害により市民の生命、身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除することができない者について、その危険を排除し、又は安全な状態に救出する。自然災害を防止し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産の被害を軽減する。	救助・水防体制を強化し、充実を図ることにより、市民の被害の防止・軽減を目的とする。	13,520	15,096	救助隊員・潜水隊員の養成 各種災害対応力の強化	□救助資器材整備 フルハーネス、救助用ギア関係更新等 □潜水資器材整備 レギュレーター、ウエットスーツ、BCジャケット、ポンプ等 □資格取得 救助関係：小型移動式クレーン2名、玉掛け技術者2名、酸素欠乏硫化水素主任者1名 水防関係：潜水士2名、二級小型船舶免許2名 □各種訓練 救助指導会強化訓練、特別救助隊員養成訓練、交通救助訓練、山岳救助訓練、土砂災害訓練、潜水士育成訓練、三機関合同潜水訓練
040702030037	消防用自動車購入事業	消防本部消防室警防課	常備消防用車両の更新。	災害に対する機動力を強化する。	災害時における被害を軽減する。	41,260	50,774	・令和4年度に更新予定の災害対応特殊消防ポンプ自動車（消防活動用資器材含む）の更新整備を実施する。 ・各車両更新時期の検討及び他市導入車両を研究する。	決算内訳 旅費 特別旅費 37,160円 備品購入費 車両費 43,670,000円 役務費 手数料（リサイクル料） 10,330円 保険料（自賠責保険料） 7,770円 公課費 公課費（自動車重量税） 57,400円
040702030039	消防団配備車両購入事業	消防本部消防室警防課	非常備消防団車両の更新。	災害に対する消防機動力を強化する。	災害時における被害を軽減する。	24,517	26,761	令和4年度更新予定の非常備消防団車両（消防活動用資器材含む）の更新整備を実施する。	決算内訳 備品購入費 車両費 19,745,000円 役務費 手数料（リサイクル料） 10,330円 保険料（自賠責保険料） 7,770円 公課費 公課費（自動車重量税） 6,200円

<b>施策目標</b>	7 災害に強いまちづくりが進んでいる
<b>基本施策</b>	2 自助、共助、公助の連携により、災害に備えます

## 【主な施策】3 災害発生時の体制や防災対策の充実

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
040702030040	各種消防活動業務	消防本部消防署	市民	市民の生命、身体及び財産を火災等の災害から守ること。	市民の生命と財産を守る	257,924	264,473	各種災害から市民の生命、身体及び財産を守る。	1 火災件数 11件 損害額 56,080千円 2 救急件数 5,582件 3 救助件数 137件 4 警戒件数 526件 5 各種訓練 警防訓練 287回 救助訓練（水難訓練含む） 310回 水防訓練 1回

施策目標	7 災害に強いまちづくりが進んでいる
基本施策	その他

## 【主な施策】その他事務事業（法定受託、経常業務など）

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
040703030383	地籍調査に関する事務	都市政策部都市基盤室道路・公園課	市民	土地にかかるトラブルの未然防止地籍調査成果を活用した台帳整備地籍情報を活用した各種業務用サーバとの連携（都市計画、固定資産税、道路、下水、防災など）	官民境界を明確にするため、土地所有者の同意に基づき、公共基準点（世界測地系）の座標から境界線を細部に測量することにより、地籍図、地籍簿を作成し、その成果によって道路台帳図及び官民境界確認の基礎的データとする	14,377	10,167	大東町の一部（0.07km）で地籍調査（官民境界等先行調査）を実施する	大東町内地籍調査業務委託【官民境界等先行調査（2項委託）】5,610千円
040703030025	災害復旧	都市政策部都市基盤室防災安全課	□市有施設等	□災害による市有施設等の被害の復旧。	□災害による被害施設等について、早期に復旧し市民生活の安定を図り、安全なまちづくりに努める。	2,076	2,680	□災害による市有施設に被害が生じた際の復旧を迅速に行うため、予算を確保する。	□実施事業無し。
040703030045	国民保護計画の策定及び見直し	都市政策部都市基盤室防災安全課	□市民及び通勤・通学・旅行等で域内に滞在するすべての人	□武力攻撃事態等から市民等の生命、身体及び財産を保護し、市民生活への影響が最小となるよう、市の体制等を構築するもの。	□国民保護計画においては、主に①平素からの備えや予防②武力攻撃事態等への対処③復旧等④緊急対処事態への対処について定めるものとする。	1,184	1,840	□武力攻撃事態等において、速やかに市民の避難等を行えるようにJアラート訓練に合わせて、防災行政無線等を使用した情報伝達訓練を行う。	□Jアラートによる情報伝達訓練
040703030020	防火対象物の規制・指導	消防本部消防予防課	防火対象物の関係者・市民	火災の発生を防止させるため法的規制を課せるとともに、防火対象物に一定の条件を具備させる。	火災防止及び火災から市民の生命、財産を守るとともに被害を最小限にする。	17,444	20,607	消防用設備等の設置規制・指導	1 負担金 2,000円 2 消防同意 56件 3 防火対象物完成検査等 174件
040703030022	危険物の規制・指導及び開発行為の指導に関すること	消防本部消防予防課	危険物施設の関係者・市民	危険物施設等の安全確保と危険物取扱者の意識高揚を図るとともに、違反事実を調査し、適用法案を的確に把握しておく。	危険物災害を抑制し、製造所等の貯蔵、取扱いの安全を確保する。開発行為を伴う消防施設等の適切な指導を行い、円滑な消防活動を行えるようにする。	22,264	24,770	危険物施設関係と危険物取扱者の防火意識の向上を図るための指導・啓発	1 需用費（消耗品費） 69,762円 2 危険物施設完成検査等 32件 3 少量危険物施設完成等 4件 4 危険物施設立入検査 25件 5 少量危険物施設立入検査 12件 6 各種届出等関係 146件 7 危険物研修会 1回（25人） 8 開発行為関係受理簿 20件
040703030038	消防車両及び資機材維持・管理事業	消防本部高浜分署	消防車両・消防資機材	消防用車両及び消防用活動資機材の維持管理並びに資機材の整備と機関員養成を行って、隊員の安全活動管理を行う。	災害時における被害軽減	28,180	27,051	・機関員の養成計画の作成 ・車両年次点検・車検計画の作成 ・資機材年次点検計画の作成	決算内訳 需用費 消耗品費 251,402円 燃料費 5,126,069円 物品補修費 3,067,448円 車検費 862,116円 役務費 手数料 2,085,364円 運搬費 550円 保険料 66,010円 備品購入費 事業用器具費 215,380円 公課費 公課費 443,500円 旅費 特別旅費 7,340円 委託料 業務委託料 1,221,000円 負担金、補助及び交付金 入校負担金 42,350円

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 消費者保護事業, 市民生活部環境・経済室地域経済振興課, 040801040106, 平見 康則

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 総合計画 (総計, 基本施策, 主な施策), 課題別計画 (事業期間, 根拠法令等, 実施区分, 財源, 施設種別). Includes details on safety and consumer protection strategies.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】), 【全体概要】. Details the target (citizens) and objectives (improving consumer safety and education).

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Shows budget breakdown for 2022-2024.

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
第3次消費者教育推進計画策定。第2次計画に基づき、消費生活センターの認知度向上に向けた啓発、成年年齢引き下げに伴う若年層への啓発を行う。

令和 4年度の実施内容

□消費生活センターの運営：消費生活相談 947件
啓発パネル、リサイクル作品等展示。消費生活関連図書、DVD、資料等の設置及び貸出
□消費生活啓発事業
消費生活セミナー2回 24人、出前講座6回 124人、SNSによる情報発信：フォロー数647人（3月29日時点）、消費生活センター新聞全戸配布（3月）発行数46,000部
□消費生活サポーター制度
講座全8回、新規受講者数5人、登録者数49人（全登録者数49人）
□立入検査（商品量目検査2回、家庭用品品質表示法・消費生活用製品安全法1回、電気用品安全法1回、ガス事業法1回）

令和 4年度の改善内容

SNS（ツイッター）フォロー数の増加
消費生活サポーター登録数の増加

現在認識している課題

消費生活センターの認知度向上。成年年齢引き下げに伴う若年層への啓発。消費者協会及び消費生活サポーターの活動支援。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目 (目的妥当性, 有効性, 効率性), 総合評価. Evaluates the project's impact, effectiveness, and efficiency.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容

第3次消費者教育推進計画に基づき、消費生活センターの認知度向上に向けた啓発。成年年齢引き下げに伴う若年層への啓発。消費者協会及び消費生活サポーターの活動支援。消費者教育を担う団体間のネットワーク強化。

今後の課題

消費生活センターの認知度向上。成年年齢引き下げに伴う若年層への啓発。消費者協会及び消費生活サポーターの活動支援。

今後の取組・方向性

第3次消費者教育推進計画に基づき、関係機関と連携しながら社会情勢の変化に合わせた消費者教育を推進する。

【総合評価】

Table with 2 columns: 評価項目 (妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向), 評価内容. Overall assessment of the project's success and future direction.

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 生活安全条例推進事業, 都市政策部都市基盤室道路・公園課, 040801040054, 石濱 晃生.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 【対象】, 【全体概要】. Includes 市民, 【意図】, 【大きな目的】, 【全体概要】 details.

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 合計, 事業費 (特 国費, 特定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 地域防犯活動の支援、子ども見守り巡回パトロールの実施、防犯カメラの維持管理.

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容, 〇市内一円防犯カメラ点検業務委託料 946,000円, 〇防犯カメラ修繕費 180,400円, etc.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 防犯カメラの維持管理, まちづくり防犯グループ役員と次年度に向けた役員体制を協議した.

Table with 2 columns: 現在認識している課題, 防犯グループの年齢構成が高まっており、若い世代への継承が課題となっている.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価内容. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 前期基本計画との整合性, etc.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 地域防犯活動の支援、子ども見守り巡回パトロールの実施、防犯カメラの維持管理.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 防犯カメラの有効性についての検証確認, 通学路合同点検などの機会を捉えて、既設防犯カメラの有効性について意見を聞き、新規で設置するのではなく移設などを検討する.

Table with 2 columns: (総合評価), 地域活動団体の連携を図り、活性化に向け支援を実施することは、安全・安心なまちづくりのために必要である. Includes 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.



令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 交通安全施設等整備事業, 都市政策部都市基盤室道路・公園課, 040802020050, 石濱 晃生.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes 戸屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象, 意図, 大きな目的, 交通安全施設の整備, 道路利用, 防犯・区画線, 老朽化した転落防止柵, etc.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について, 注. Includes 合計, 事業費 (特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他), うち人件費合計, 活動配分, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
市内一円歩道切下げ部バリアフリー化計画に基づく対策実施箇所を増やしたため。

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes 交通安全施設の補修・整備・改良改修, 防護柵改修計画に基づく市内一円防護柵改修実施, etc.

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容 (continued), 令和 4年度の改善内容. Includes 市民からの要望に対して、交通安全施設の改良・補修等を実施.

Table with 2 columns: 現在認識している課題. Includes 通学路交通安全プログラムに基づく対策の対応.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 効果性評価, etc.

Table with 2 columns: 事業の評価 (continued), 今後の対応・方向性. Includes 総合評価, 効果性評価, 今後の課題, 今後の取組・方向性.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Includes 通学路交通安全プログラムに伴う対策工事の進捗を図る, etc.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 通学路交通安全プログラムに伴う対策の対応, etc.

Table with 2 columns: (総合評価), 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Includes 道路を通行する上で安全で快適な交通環境を確保することは有効であり、継続して取り組む必要がある.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 公益灯の新設・改良・維持管理, 都市政策部都市基盤室道路・公園課, 040802020053, 石濱 晃生.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes 安全安心, 日常の安全安心が確保されている, 交通ルールを守る意識を高め, etc.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 道路を利用する歩行者, 自転車, 車両等. 道路照明により夜間の交通安全と防犯を図る.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 事業費, うち人件費合計, 活動配分, etc.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes LED導入実施計画に基づき, LED化を実施する.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes LED化の推進に努めた, LED化への早期対応.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes LED化の推進に努めた, LED化への早期対応.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 効果性評価, 効率性評価. Includes 事業実施に妥当性があるか, 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes LED導入実施計画に基づき, LED化を実施する.

Table with 2 columns: (総合評価), 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Includes 公益灯を設置することにより, 安心・安全を図ることは有効であり, etc.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 交通安全運動の推進
事務事業番号 040802030051
担当所属 都市政策部都市基盤室道路・公園課
担当課長名 石濱 晃生

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 04 安全安心
施策目標 08 8 日常の安全安心が確保されている
基本施策 02 2 交通ルールを守る意識を高め、歩きやすいまちとなるよう取り組みます
主な施策 03 3 交通安全に関する周知・啓発の強化
課題別計画 第10次戸屋市交通安全計画(平成28~令和7年度)
事業期間 昭和43年度 ~ 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務
根拠法令等 交通安全対策基本法
実施区分 直営、委託 財源 市 施設種別

【事業概要】

事業概要
【対象】 市民
【意図】 市民一人一人に交通安全思想の普及徹底を図り、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣付ける。
【大きな目的】 交通安全意識と交通マナーの向上を図ることにより、交通事故を減少させる。
【全体概要】
【交通安全教育の振興】
□幼児、児童に対する交通安全教室の開催
□高齢者への交通安全教室の開催
□自転車交通安全教室
□交通安全対策委員会の開催
【広報活動の充実】
□全国交通安全運動の推進
□後部座席シートベルト・チャイルドシートの着用啓発
□乗車用ヘルメットの着用義務
□違法駐車排除活動(JR戸屋駅北 他)
□自転車(賠償責任)保険の加入促進

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 10,283 12,178 756
事業費 千円 10,283 12,178 756
特 国費 千円 0 0 0
定 県費 千円 0 0 0
財 市債 千円 0 0 0
源 その他 千円 0 0 0
一般財源 千円 10,283 12,178 756
うち人件費合計 千円 9,441 11,528
活動配分 人 1,850 2,450
正職員 人 0,500 0,350
会計年度任用職員 人 1,350 2,100
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0
事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
交通弱者・歩行者・自転車利用者の安全確保、交通安全教室及び街頭啓発等

令和 4年度の実施内容
交通安全教育
交通安全教室 60回
高齢者交通安全教室 1回
その他交通安全教室(市職員対象) 1回
啓発活動
街頭啓発 45回
迷惑駐車追放啓発 0回

令和 4年度の改善内容
交通安全啓発(子ども・自転車)の継続

現在認識している課題
交通ルール・マナーの啓発(高齢者・子ども・自転車)

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 法令等により市が実施しなければならない
交通安全対策基本法による
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
交通に関するルールとマナーの周知、啓発に努めている。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が中程度
安全安心なまちづくりの推進に貢献している。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 概ね実行している
第10次戸屋市交通安全計画に沿った啓発活動を行っている。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統廃合はできない
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できない
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価 負担を求めるべき事業ではない

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
交通弱者・歩行者・自転車利用者の安全確保、交通安全教室及び街頭啓発等、第10次戸屋市交通安全計画改定版に基づく施策の点検・評価

今後の課題
交通弱者・歩行者・自転車利用者の安全確保
交通安全教室及び街頭啓発の実施
今後の取組・方向性
交通安全啓発(高齢者・子ども・自転車)
第10次戸屋市交通安全計画改定版に基づく施策の点検・評価

【総合評価】
交通マナー向上のため、継続した交通安全教育・啓発を実施する必要がある。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 ある程度改善の余地がある
今後の方向 現状維持

<b>施策目標</b>	8 日常の安全安心が確保されている
<b>基本施策</b>	2 交通ルールを守る意識を高め、歩きやすいまちとなるよう取り組みます

## 【主な施策】2 道路の安全な通行につながる対策の実施

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
040802020410	自転車駐輪場管理運営事業	都市政策部都市 基盤室道路・公園課	道路を利用する歩行者、自転車等の利用者	自転車等の利用者に対し、自転車駐輪場の整備及び適切な管理運営を行うことで、放置自転車をなくすなど、自転車等の適正利用を促進する	駐輪場の利用により放置自転車をなくし歩行者等の安全で円滑な通行と良好な都市環境を確保する	62,569	59,273	自転車駐輪場利用者の利便性の向上と利用促進	J R芦屋駅北自転車駐輪場管理費 10,544,160円 J R芦屋駅北自転車駐輪場借地料 877,044円
040802020412	駐車場事業特別会計	都市政策部都市 基盤室道路・公園課	J R芦屋駅北駐車場	市営駐車場を運営し路上駐車等の防止を図ることで、交通事情の改善を図る。	J R芦屋駅周辺の道路交通の円滑化を図る。	40,290	48,392	駐車場運営 建築設備補修	料金徴収事務業務委託 4,928,000円 維持管理等業務委託 26,121,269円 利用状況 利用台数 153,874台(422台/日) 駐車場収入 36,547,085円
040802021038	放置自転車対策	都市政策部都市 基盤室道路・公園課	道路を利用する歩行者、自転車等の利用者	道路から放置自転車をなくす	道路から放置自転車をなくし、歩行者等の安全で円滑な通行と良好な都市環境を確保する	21,434	21,240	放置自転車等の撤去による道路通行空間の確保	<input type="checkbox"/> 放置自転車の移送 <input type="checkbox"/> 放置自転車の返還 <input type="checkbox"/> 放置自転車の処分

令和 5年度 事務事業評価票 ( 令和 4年度 決算評価 )

Table with 2 columns: 事務事業名 (Communication facilities and fire information equipment operation management business), 事務事業番号 (040803010034), 担当所属 (Fire Department Fire Control Center), 担当課長名 (Murakami Hirota)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 戸屋の将来像 (People who are connected and who smile), 総合計画 (Strategy, Objectives, Basic Policy, Main Policy), 課題別計画 (Project Period, Root Laws, Implementation Area, Funding Source, Facility Type)

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (Objectives, Intentions, Large Objectives), 全体概要 (119 Dispatch, N119, Multilingual, Dispatch, Disaster, Digital, High-capability, Wireless, etc.)

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: Year, Unit, FY3 Budget, FY4 Budget, FY5 Budget, FY4 Actual, FY4 Actual Details (Personnel, Activity Allocation, Expenses)

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)
事業費: 保守業務に車載無線、AVM装置の点検を追加、及び指令台更新に係る設計業務委託の支払いがあったため、増額となった。

【令和4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和4年度目標 (Fire emergency communication, multilingual, high-capability), 令和4年度の実施内容 (Fire emergency communication, multilingual, N119, high-capability)

Table with 2 columns: 令和4年度の改善内容 (High-capability fire control center updates, cost reduction)

Table with 2 columns: 現在認識している課題 (Aging of fire emergency communication, high-capability fire control center updates)

Table with 2 columns: 【事業の評価】 (Purpose, Overall, Previous, Effectiveness, Efficiency, Fairness)

Table with 2 columns: 【今後の対応・方向性】 (FY5 Goals/Improvements, Future Tasks, Overall Evaluation)

Table with 2 columns: 令和5年度の目標・改善内容 (High-capability fire control center updates, maintenance)

Table with 2 columns: 今後の課題 (Existing equipment maintenance, high-capability fire control center updates)

Table with 2 columns: 【総合評価】 (FY5 and FY6 high-capability fire control center updates, equipment maintenance)

Table with 2 columns: 適切性 (Appropriateness, Achievement, Improvement Potential, Future Direction)

<b>施策目標</b>	8 日常の安全安心が確保されている
<b>基本施策</b>	3 誰もが安心して適切な医療を受けられる地域を目指します

## 【主な施策】 1 救急体制の充実

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容																																											
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容																																										
040803010126	救急救命士の養成及び応急手当の普及啓発業務	消防本部消防室 救急課	市民	救急救命士の養成及び応急手当の普及啓発に努め、適切で迅速な救急活動を行う。	傷病者の救命率向上を目指す	16,375	16,186	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士を1名以上養成し、現場活動人員を確保する。</li> <li>気管挿管等を実施できる認定救命士を養成し、救急業務の高度化に対応する。</li> <li>応急手当普及啓発に努め、受講者2,000人を目指す。</li> </ul>	<table border="0"> <tr> <td>特別旅費</td> <td>290,410円</td> <td>(入校・病院実習)</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>237,836円</td> <td>・救急救命士養成課程入校 1人</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>150,229円</td> <td>・救急救命士就業前研修 4人</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>873,738円</td> <td>・救急救命士生涯研修 18人</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助金及び交付金</td> <td></td> <td>(講習会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,114,500円</td> <td>・普通救命講習 310人</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>9,000円</td> <td>・応急手当講習 477人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,675,713円</td> <td>・応急手当指導員講習 3人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・上級救命講習 19人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・応急手当普及員再講習 8人</td> </tr> </table>	特別旅費	290,410円	(入校・病院実習)	消耗品費	237,836円	・救急救命士養成課程入校 1人	役務費	150,229円	・救急救命士就業前研修 4人	委託料	873,738円	・救急救命士生涯研修 18人	負担金、補助金及び交付金		(講習会)		2,114,500円	・普通救命講習 310人	公課費	9,000円	・応急手当講習 477人	合計	3,675,713円	・応急手当指導員講習 3人			・上級救命講習 19人			・応急手当普及員再講習 8人												
特別旅費	290,410円	(入校・病院実習)																																																	
消耗品費	237,836円	・救急救命士養成課程入校 1人																																																	
役務費	150,229円	・救急救命士就業前研修 4人																																																	
委託料	873,738円	・救急救命士生涯研修 18人																																																	
負担金、補助金及び交付金		(講習会)																																																	
	2,114,500円	・普通救命講習 310人																																																	
公課費	9,000円	・応急手当講習 477人																																																	
合計	3,675,713円	・応急手当指導員講習 3人																																																	
		・上級救命講習 19人																																																	
		・応急手当普及員再講習 8人																																																	
040803010125	救急活動に関する業務	消防本部消防室 救急課	市民	救急車の適正利用を促進し、真に必要なとする傷病者に対応する。救急活動上の感染防止に努め、感染の拡大を防止する。各種研修を受講し、救急医療の進歩に対応する。	安全で確実な救急活動を行い、市民の安全と安心を確保する。	19,391	19,949	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急活動における感染防止の徹底</li> <li>救急業務の高度化に伴い、救急隊員の知識及び技量の向上に努める。</li> <li>救急車の適正利用の啓発</li> </ul>	<table border="0"> <tr> <td>備品購入費</td> <td>767,525円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別旅費</td> <td>45,460円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>5,120,935円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>70,265円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>物品補修費</td> <td>416,996円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>253,096円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>91,630円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>656,876円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>17,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,439,783円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>近畿救急医学研究会隊員部会 1回12人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>インフルエンザ予防接種 24人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B型肝炎に係る検査及びワクチン接種 10人</td> </tr> </table>	備品購入費	767,525円		特別旅費	45,460円		消耗品費	5,120,935円		印刷製本費	70,265円		物品補修費	416,996円		役務費	253,096円		委託料	91,630円		使用料及び賃借料	656,876円		負担金、補助及び交付金				17,000円		合計	7,439,783円				近畿救急医学研究会隊員部会 1回12人			インフルエンザ予防接種 24人			B型肝炎に係る検査及びワクチン接種 10人
備品購入費	767,525円																																																		
特別旅費	45,460円																																																		
消耗品費	5,120,935円																																																		
印刷製本費	70,265円																																																		
物品補修費	416,996円																																																		
役務費	253,096円																																																		
委託料	91,630円																																																		
使用料及び賃借料	656,876円																																																		
負担金、補助及び交付金																																																			
	17,000円																																																		
合計	7,439,783円																																																		
		近畿救急医学研究会隊員部会 1回12人																																																	
		インフルエンザ予防接種 24人																																																	
		B型肝炎に係る検査及びワクチン接種 10人																																																	

<b>施策目標</b>	8 日常の安全安心が確保されている
<b>基本施策</b>	3 誰もが安心して適切な医療を受けられる地域を目指します

## 【主な施策】2 医療の地域連携の推進

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
040803020124	救急医療事業	こども福祉部 こども家庭室 こども家庭・保健 センター(保健)	市民	市民の生命と健康を守る。	地域救急医療の充実	80,104	106,943	救急安心センター（#7119）事業について周知と円滑な運用を行う。	<input type="checkbox"/> 市立休日応急診療所の管理運営（日曜・祝日・12月29日から翌年の1月3日までの午前9時から午後5時まで） <input type="checkbox"/> 一次救急医療対策（夜間在宅番制） <input type="checkbox"/> 二次救急医療対策（尼崎・西宮・芦屋の3市の病院群輪番制） <input type="checkbox"/> 小児救急医療対策（尼崎・西宮・芦屋の3市の二次病院群輪番制） <input type="checkbox"/> こども初期急病センターとの連携 <input type="checkbox"/> 歯科休日診療対策 <input type="checkbox"/> 眼科・耳鼻咽喉科広域一次救急医療対策（阪神6市1町で運営） <input type="checkbox"/> 兵庫県下の救急医療情報システム・むこねっと二次救急システム他 <input type="checkbox"/> 救急安心センター（#7119）事業 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス抗原検査キット配布事業 <input type="checkbox"/> 保険医療機関等原油価格・物価高騰対策一時支援金

施策目標	8 日常の安全安心が確保されている
基本施策	その他

## 【主な施策】その他事務事業（法定受託、経常業務など）

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
040804020113	福祉医療費助成事業	こども福祉部福祉室地域福祉課	①65歳以上70歳未満の高齢期移行者で所得制限未満のもの（要介護2以上であることが要件となる場合もあり）②1歳未満の乳児③1歳以上小学校3年生までの乳幼児等で所得制限未満のもの④小学校4年生から中学校3年生までのこどもで所得制限未満のもの⑤一定の障がいがあり所得制限未満のもの⑥母子家庭等で所得制限未満のもの	高齢期移行者、乳幼児等、こども、心身障がい者、精神障がい者及び母子家庭等に対し医療費の一部を助成することにより、乳幼児等及びこどもの健やかな育成、並びに高齢期移行者、心身障がい者、精神障がい者及び母子家庭等の保健の向上に寄与し、もって生活の向上と福祉の増進を図る。	高齢期移行者、乳幼児等、こども、一定の障がい者及び母子家庭等に対して、医療を受ける際の医療費を助成することで、受給者が必要な時に医療機関等に受診することができるようになり心身ともに良好な生活を過ごせるまちづくり。	538,029	551,822	無料化しているこどもの医療費を中心に、医療機関への適正な受診を促すため、受給者に対する周知・啓発を継続して実施する。	各医療費助成制度別決算額等（制度名／令和5年3月末受給者数／助成額） ・乳幼児等医療費助成 4,268人／154,077,458円 ・高齢期移行助成 76人／2,923,929円 ・障害者医療費助成 992人／118,693,517円 ・高齢障害者医療費助成 1,016人／118,183,615円 ・母子家庭等医療費助成 716人／24,758,971円 ・こども医療費助成 2,676人／84,308,436円